

図書館通信

令和2年6月号
磯松中学校図書館



R2. 5. 28 磯松中学校図書館にて撮影

臨時休業中の磯松中学校には、ツバメの“留学生”が今年もやってきました。腰の部分が茶色いので「コシアカツバメ」でしょうか。西日本各地に分布し学校などの高層建物に集団営巣することが多く、泥を主体として作られている様子は実際に見て確認できます。今年は巣が落ちていることが数回ありました。冬は中国南部などに渡り、年により西日本では少数越冬するそうです。(460ヒ5『標準原色図鑑全集5 鳥』保育社より)左の写真は、5/28に館内へ迷い込んだ子ツバメです。外では、親ツバメがしきりに

鳴いて子ツバメを呼んでいます。まもなくこの窓から無事に飛び出し、親ツバメの鳴き声もやみました。みなさんも、図書館に来てくださいね。たくさんの本が、待っていますよ。

祝 令和2年度「子供の読書活動優秀実践校」 文部科学大臣表彰

この度、磯松中学校は令和2年度「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣に表彰されました。学校全体での計画的な図書館環境整備と図書館を活用した多様な読書活動を進め、継続的な取組が評価されました。図書館を活用した授業での調べ学習や図書委員会による楽しい図書館イベントや本の紹介POPがきっかけとなり、たくさん本が借りられるようになりました。また、図書室掃除みなさんの日々の清掃と書架整理も利用しやすい環境整備に大きな役割を果たしています。これまでの取組は、学校のホームページから「図書館通信」をご覧ください。みなさんは、読書に親しみ図書館をよく活用しています。

図書館は「資料（本など）」「建物（図書室）」「人（利用する人と図書館員）」3つの要素できているといわれています。今回の臨時休業中は、誰も利用しない図書館の状態が長く続きました。インドの数学者であり図書館学者でもあるランガナタンの「図書館学の五法則」の5法則目に「図書館は成長する有機体である」とあります。」たくさんの人に利用され、図書館員のいる図書館はどんどん変化し、生まれ変わり成長していくのです。世界中の図書館が今まさにこのことを実感していることでしょう。

今の私たちは、これまで磯松中学校図書館を利用された卒業生・教職員の方々からこの図書館を受け継いで利用しています。そして未来の利用者へ受け渡していきます。本の作者や出版に関わる人にも敬意を持ち、先人に感謝しながら、みなさんでこの磯松中学校図書館を育てていきたいですね。

磯松中学校図書館をこれまで利用されたすべてのみなさん、おめでとうございます！これからもどうぞ気軽に図書館を利用してください。

学校の新しい生活様式 **新・図書館の利用方法！**

- ①利用前後に、必ず手洗い ②貸出は、5冊・2週間 ③カウンターが移動&館内は一方通行

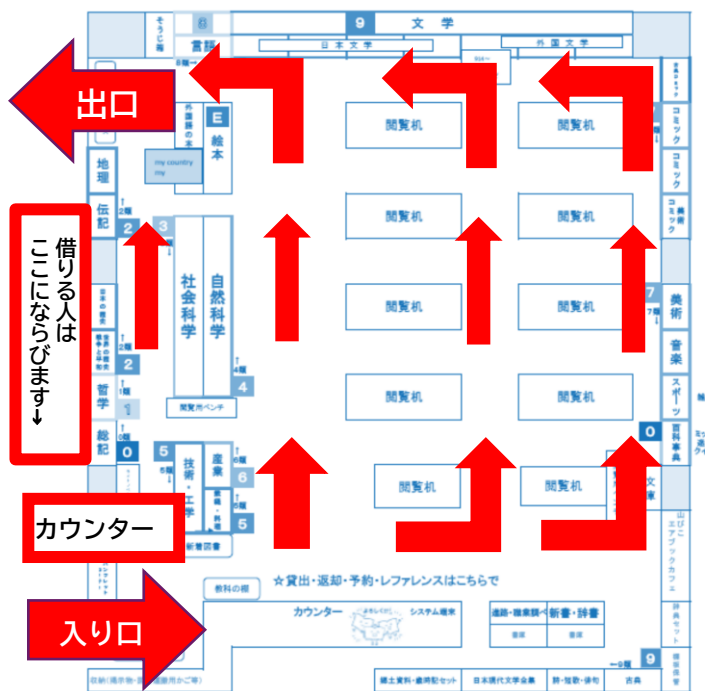
利用前後に、必ず手洗い
30秒、水と石けんで！



カウンターが移動！
借りるときは廊下に並びます。



図書館は一方通行 入り口と出口は別々



貸出冊数 5冊
貸出期間 2週間



磯松中学校ホームページ

磯松中学校図書館で現在実施している対策を館内と校舎内で掲示しています。また学校ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

磯松中学校ホームページ「生徒と先生をまもる～安心して図書館を利用するための工夫と約束～」

https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu_chu/index.html

さて今月の展示のお知らせです。

「今月の作家 ブレイディみかこさん」「6月10日は時の記念日」「6月は食育月間」のほか部活動、朝読におすすめの本も引き続き展示しています。

また6月は『家読』をおすすめしています。『家読(うちどく)』とは、家族で楽しむ自由なスタイルの読書タイムです。梅雨ももうすぐのこの季節、スマホやゲームをお休みして、大人も子どもも本を手にとってみませんか。